

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 125

22年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単位	事業費(千円)	
(1) 主な取組み	健康都市指標の調査	1	回		276
	健康都市白書の発行	600	部		570
	その他 ()				0
(2) 事業実績	健康都市指標の調査として、国立大学法人東京医科歯科大学と連携研究協定を結び、平成13年度からの10年間の健康都市指標のデータの推移を分析を依頼しました。その分析結果を受けて「健康都市白書'10 健康都市杉並10年のあゆみ」を発行しました。 健康都市杉並庁内推進会議を2回開催しました。				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平均寿命は、13・20年度(男78.3歳・80.3歳)(女84.7歳・86.6歳)と男女ともに延伸、健康と感じている20歳以上の人の割合は、13・22年度(79.2%・85.3%)となっています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	健康都市指標の10年間の推移の分析については、他自治体からも貴重な分析結果であると注目されています。
	今後の予測	平成23年3月11日の東日本大震災を機に、健康に対する区民の関心は、地域のつながりの強化など心理的な健康課題に関して高まっていくと考えられます。
評価と課題		10年間の健康都市指標のデータ分析により、杉並区は国や東京都と比較しても優れた健康長寿のまちであることが実証され、この10年の取り組みが有効であったことが検証できました。今後は、健康長寿を維持するとともに、健康的な生活の質をより高めていく施策の展開に活用していく必要があると考えられます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
現在の「健康都市杉並」の取り組みについては一定の区切りをつけ、新基本構想の策定に合わせ、健康都市指標調査を含めた健康関連施策の新たな推進のあり方について検討が必要です。 今後の10年間の杉並区を踏まえた基本構想、これを支える総合計画が策定されます。これを受け、24年度策定を目指し、23年度末から保健福祉計画の検討を行います。各課の計画調整担当連携を図りながら、総合的な計画となるよう調整を図ります。			

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		保健所一般事務		款	4	項	5	目	1	事業	1	整理番号	316
担当部課名		杉並保健所地域保健課		係名	管理係			連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	312	
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	55	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		杉並保健所に勤務する職員及び保健業務に従事する雇上医師等		根拠法令等		(1) 杉並区組織条例 (2) 杉並保健所設置条例					
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		庶務的経費を効率的に管理し、限られた予算の中で担当部内業務の効率的執行を行うとともに、職員がより安全かつ効率的に業務を行えるようにします。		活動指標名(式)		(1) 杉並保健所職員数 (2)					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○事務用品類の購入及び事務機器等の保守等 ○医療業務に従事する職員の傷害・賠償保険等の加入 ○衛生主管部としての担当部内各課の連絡調整事務		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代) 予算執行率 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等					
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	①	人	114	109	112	110	114	108	103.6			
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③	%	88.8	100.0	85.8	100.0	85.6	100.0	85.6			
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	5,788	6,520	5,596	6,993	5,982	6,898	22年度予算執行率%	85.5		
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 複合機の使用頻度が予定よりも少なかったため、また、雇い上げ医師等B型肝炎特殊検診の受診希望者の減少及び検診の結果ワクチン接種対象者がいなかったため執行残が生じました。			
	(内) 委託費	⑦	千円	1,376	1,625	1,378	1,625	1,354	1,532				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.61 0.00	1.20 0.30	1.35 0.30	1.50 0.00	1.65 0.00	1.20 0.20				
	人件費	⑨	千円	14,571	10,655	11,987	13,380	14,718	10,704				
	(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	838	838	0	0	590				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	20,359	18,013	18,421	20,373	20,700	18,192				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	178,588	165,257	164,473	185,209	181,579	168,444				
	財源	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
	受益者負担分	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
国からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等	⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑱	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(⑱-⑰)	⑲	千円	20,359	18,013	18,421	20,373	20,700	18,192					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 316

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		(2) 事業実績	複合機の使用貸借及び消耗品供給契約	3	台
		東京都保健医療情報センターにおける連絡通報受理業務委託(委託等)	1	件	1,290
		保健所事業に従事する医師等の傷害保険			1,101
		保健所業務に関する賠償責任保険			604
		その他 (製版印刷機及びカラードラムの借料ほか)			2,009
		複合機の消耗品供給契約、製版印刷機の借料などの管理事務経費の執行のほか、保健所に従事する雇い上げ医師等に対する執務環境を整えるため、賠償責任保険の加入などを行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度の組織改正により、保健福祉部が部全体の調整機能を担うことになりましたが、衛生主管部として担当部内の連絡調整を担うこととなりました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	より適正な予算執行が求められます。
	今後の予測	情報伝達及び提出書類のペーパーレス化が推進されていますが、一方で新規事業や災害などの対応等による情報量の増加に伴い、複合機(コピー・プリンタ)の依存が高まっています。また、組織を横断した課題が多くなり、より一層連絡調整機能が増加すると思われます。
	評価と課題	紙の再利用・資料の共有など、杉並区環境・省エネ対策実施プランに取り組み、引き続き省エネ省資源化に努める必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更	● 実施方法の変更		
	複合機(コピー・プリンタ)の使用量は、前年度に比べ減少していますが、新規事業や災害などの対応等による情報量の増加に伴い、使用量の増加が見込まれます。引き続き裏面使用等のルール徹底を行い、削減に向け努力します。資料を職員間で共有し、重複した資料を必要以上に持たないようにします。					

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		衛生統計調査		款	4	項	5	目	1	事業	4	整理番号	319		
担当部課名		杉並保健所地域保健課		係名	管理係			連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	315			
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進		予算事業区分								既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input checked="" type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等							(1) 統計法 (2) 統計報告調整法	
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 各種統計調査を的確に実施することにより、国及び区の衛生統計の正確な基礎資料を作成し、地域保健施策等広く反映させます。						活動指標名(式)							(1) 実施調査種数 (2)
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○厚生労働省の各種統計調査(人口動態・国民生活基礎調査等)を実施する。 ○人口動態調査の調査票に基づき、杉並区の人口に関する統計資料を作成する。						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							成果指標名(1) (代)調査件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	①	件	11	8	8	9	7	8	77.8					
	活動指標(2)	②													
	成果指標(1)	③	件	24,629	15,000	14,194	18,000	20,185	15,496	112.1					
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	2,264	2,424	1,959	2,823	2,191	2,627	22年度予算執行率% 77.6					
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0				特記事項 調査内容は、厚生労働省より指示があるため、目標値の設定には馴染みません。 活動指標には、今年度、厚生労働省から委託された統計調査の実施数を、成果指標にはその実施する統計調査の予想件数を代替指数として用いました。					
	(内) 委託費	⑦	千円	548	215	63	461	298	643						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.54 0.00	0.20 0.30	0.23 0.30	0.50 0.00	0.54 0.00	0.30 0.20						
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	4,887	1,776	2,042	4,460	4,817				2,676		
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	838	838	0	0				590		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	7,151	5,038	4,839	7,283	7,008	5,893						
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	650,091	629,750	604,875	809,222	1,001,143	736,625						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				0		
		国からの補助金等	⑭	千円	644	643	666	692	790				1,014		
		都からの補助金等	⑮	千円	2,060	1,765	1,294	1,844	1,401				1,613		
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0				0		
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	2,704	2,408	1,960	2,536	2,191	2,627						
差引: 一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	4,447	2,630	2,879	4,747	4,817	3,266						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 319

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		国民生活基礎調査	686	世帯	820
	国民健康・栄養調査	55	人	790	
	社会保障・人口問題基本調査	289	世帯	245	
	人口動態調査	13,700	件	80	
	その他（医療施設調査 ほか）			256	
	(2) 事業実績	21世紀成年者縦断調査及び中高年者縦断調査については、国から対象者に直接調査票を郵送し、回収する調査方式に変更となりました。予定されていた7つの統計調査は、実施されました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="実現していない(実現は困難)((4)へ)"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="行政直轄"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	急速な高齢化、出生率の低下に伴う少子化、慢性疾患の増加等により地域保健を取り巻く環境は大きく変化しています。一方で、国民の健康に対する意識の高まりから、衛生統計調査の種類・様式などの見直しが行われています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	個人情報に対する意識が高まり、統計調査に対しての不信感が高まっています。
	今後の予測	個人情報に対する意識の高まりや生活様式の多様化による不在世帯の増加により、調査環境は今後ますます厳しくなっていくと思われます。それに伴い、調査方法の見直しがさらに進められていくと思われます。
	評価と課題	個人情報に対する意識の高まりなどにより調査拒否世帯が増え、統計調査を円滑に実施することが年々困難になってきています。調査内容や方法は国が決めますが、調査員による対面方式以外に郵送回収やインターネット調査の導入など、区民の実情に合わせた調査となるよう、都や国に要望します。また、調査員の高齢化や担い手の少ない状況が今後も続いていくことが予想され、調査事務の民間委託について検討していく必要があります。

改善・見直しの方向（中長期）	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
調査環境が年々厳しくなる中で、円滑に調査を実施するためには、統計調査に対する理解と協力が必要です。調査員が区民に対して今まで以上に丁寧に解りやすく説明ができるよう、調査員向けの説明会などを充実させていきます。また、調査対象世帯に調査の案内を配布するなど、調査の目的や調査結果の活用方法について周知に努めていきます。調査票の回収率の向上など精度の高い統計調査にしていけるために、調査方法の見直しや調査事務の民間委託など都や国に要望していきます。			

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		各種保健事業推進活動		款	4	項	5	目	1	事業	5	整理番号	320
担当部課名		杉並保健所地域保健課		係名	管理係			連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	316	
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	50	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律 (2) 自殺対策基本法				
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)		(1) 区内献血者数 (2) 庁内献血者数(イベント等も含む)							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
○自殺者の減少をめざして、自殺予防の普及啓発、相談窓口の対応力強化を進める。 ○関係団体と協力して、献血、薬物乱用防止、骨髄バンクドナー登録などの活動を行う。		成果指標名(1)		自殺予防シンポジウム等参加者数		算定式・指標の説明等							
成果指標名(2)		自殺者数の19年比削減率		算定式・指標の説明等									
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	①	人	1,751	5,000	1,760	5,000	1,460	5,000	29.2			
	活動指標(2)	②	人	176	250	124	250	126	250	50.4			
	成果指標(1)	③	人	712	800	2,061	1,000	905	1,000	90.5			
	成果指標(2)	④	%	2.6	10.0	18.4	20.0	0.9	20.0	4.5			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	7,632	9,697	9,333	8,231	7,539	7,648	22年度予算執行率% 91.6			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 21年度に単年度の臨時的経費として予算化された、骨髄バンクドナー登録などの普及啓発経費の分が22年度はないため、22年度の事業費は減っています。			
	(内)委託費	⑦	千円	1,321	889	877	735	686	820				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.53 0.00	1.20 0.20	1.59 0.20	1.60 0.00	1.86 0.00	1.50 0.40				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	13,847	10,655	14,118	14,272	16,591				13,380
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	559	559	0	0				1,180
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	21,479	20,911	24,010	22,503	24,130	22,208				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	12,267	4,182	13,642	4,501	16,527	4,442				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				0
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0				0
		都からの補助金等	⑮	千円	920	1,251	1,221	1,707	1,707				1,505
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0				0
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	920	1,251	1,221	1,707	1,707	1,505				
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	20,559	19,660	22,789	20,796	22,423	20,703				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 320

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		(2) 事業実績	5月と9月の杉並区自殺予防月間には、自殺対策シンポジウムや講演会、演劇の上演などの事業に取り組むとともに、相談事業を強化し、区内の自殺者数の減少に努めました。 骨髄バンク登録や薬物乱用防止などの取組を推進し、医師会等による健康保持事業や日本赤十字社の献血事業等を支援しました。		
		杉並区自殺予防月間(春・秋)	2	回	1,707
		骨髄バンクドナー登録推進活動等	3	回	266
		区民健康保持事業等補助金	5	団体	5,106
		地域保健推進協議会	1	回	164
		その他 ()			296

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	○医師会・歯科医師会・薬剤師会等への補助については、適宜見直しを行い、適正化に努めています。 ○近年の薬物事犯者が低年齢化している中、薬物乱用防止の普及活動は重要性を増しています。 ○杉並区の自殺者は毎年100人を超えていましたが、自殺対策事業に取り組んだ結果、21年には前年より20人弱自殺者を減らすことができました。しかし、22年は再び100人を超えてしまいました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	○少子高齢化の進展や健康志向の増加を背景に、区民の保健事業に対する関心は高まっています。 ○自殺を個人の問題ではなく、重大な社会問題として捉える考え方が広がり、区民の自殺対策事業に関する期待や関心にも高まりがみられます。
	今後の予測	○区民の健康を守るためには、関係団体等と連携して、さまざまな事業に取り組む必要があります。 ○今後とも自殺対策や骨髄バンク登録推進、薬物乱用防止などの事業に、積極的に取り組むことで、区民の意識を高めていくことが必要です。
	評価と課題	自殺対策については普及啓発事業を重点的に取組み、相談窓口の対応力向上のためにゲートキーパー研修などを実施しましたが、結果として22年の区内の自殺者数は、前年数値と比べて20人の増となりました。 また、骨髄バンク登録や薬物乱用防止などの取組を推進し、医師会等による健康保持事業や日本赤十字社の献血事業等を支援しました。 今後は、より効果的な普及啓発の方法を探ることが課題です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
		<p>○区民の健康意識を高めるために、区民や関係団体との連携を今まで以上に進め、地域の団体等の活動を支援していきます。</p> <p>○区民への情報提供や普及啓発を推進するために、インターネットや各種メディアの活用に取り組みます。</p> <p>○区民に対して各種事業の普及啓発をさらに推進するため、区内で活動する自主グループやNPO法人等とも幅広く連携して事業を進めていきます。</p> <p>○保健に関する事業は短期間で成果を挙げることは難しいため、継続的に取り組むことが必要です。現在と同程度の予算を維持しつつ、長期的な観点でより効果的な事業展開を図ります。</p>	

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		杉並健康都市づくり		款	4	項	5	目	1	事業	6	整理番号	321						
担当部課名		杉並保健所地域保健課		係名	管理係			連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	317							
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進		予算事業区分								既定事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	12	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	2	政策番号	1	施策番号	1	事業コード	1	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/>	個人	<input type="checkbox"/>	世帯	<input checked="" type="checkbox"/>	団体	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	内部管理	根拠法令等 (1) 健康増進法 (2) 21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	健康づくりに関する地域ネットワークが整備され、区民・事業者・行政が健康都市の理念を共有し、区民が安心して健康に暮らしていける状態にします。								活動指標名(式) (1) 「健康都市杉並ファロ」参加者数 (2) 「よい歯ファミリーフェスティバル」参加者数									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○区民・関係団体と協働し、イベント(健康都市杉並ファロ・よい歯ファミリーフェスティバル等)を開催する。								成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)「健康都市杉並推進月間」協賛団体数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 「よい歯ファミリーフェスティバル」表彰家族数 算定式・指標の説明等									
区分		単位	20年度		21年度		22年度				23年度	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %							
			実績		計画	実績		計画(目標値)		実績			計画						
指標	活動指標(1)	①	人	740	1000	421	500	270	500	54.0									
	活動指標(2)	②	人	440	500	0	500	423	500	84.6									
	成果指標(1)	③	団体	16	20	18	20	17	20	85.0									
	成果指標(2)	④	家族	22	25	6	30	6	20	20.0									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	1,978	1,043	578	991	946	986	22年度予算執行率%	95.5								
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 21年度は「よい歯ファミリーフェスティバル」は中止となったので、22年度の事業費の実績は、21年度と比べて増えています。									
	(内)委託費	⑦	千円	1,049	247	238	279	278	171										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.20 0.00	1.38 0.00	1.03 0.00	0.72 0.00	0.75 0.00	0.73 0.00										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	10,860	12,253	9,145	6,422	6,690			6,512							
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0							
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	12,838	13,296	9,723	7,413	7,636	7,498										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	17,349	13,296	23,095	14,826	28,281	14,996										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0							
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0							
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0			0							
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0			0							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0										
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	12,838	13,296	9,723	7,413	7,636	7,498										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 321

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		健康都市杉並ファロの開催	1	回	697
		よい歯ファミリーフェスティバル開催	1	回	249
		その他 ()			0
(2) 事業実績	<p>○22年度は、保健所主催のイベントとして、「健康都市杉並ファロ」を実施し、関係団体等のイベントを「健康都市杉並推進月間」の取組みとして支援しました。</p> <p>○「よい歯ファミリーフェスティバル」については、杉並区歯科医師会、東京都歯科衛生士会、杉並歯科技工士会、健康づくりリーダー等の協力もあり、体験コーナーは充実し参加者は増加していますが、歯や口の健康に留意している表彰家族数が減少傾向にあります。</p>				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手
	十分に実現している	NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方
	協働[事業協力]	実施継続

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>○「健康都市杉並ファロ」は平成12年より毎年開催しています。21年度からは、従来の「中央イベント」のみを「健康都市杉並ファロ」として実施しています。20年度で「健康づくり推進員」が廃止になり、新たに「健康づくりリーダー」が発足しました。</p> <p>○「よい歯ファミリーフェスティバル」は、杉並区歯科医師会に加え平成15年度より東京都歯科衛生士会・杉並歯科技工士会を協賛団体として実施しています。18年度より実施している歯や口の健康に留意している表彰家族が減少しています。</p>
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>○「健康都市杉並ファロ」は、内容については比較的好評ですが、地域団体との協働のあり方などについて区民から意見・要望が出されています。</p>
	今後の予測	<p>○区民・地域団体を主体とした事業展開を進めていくことが、健康都市の理念の普及には効果的です。今後も、「健康都市杉並推進月間」を中心に、健康なまちづくりの実現に向けた取組みを推進していきます。</p> <p>○「よい歯ファミリーフェスティバル」と杉並区歯科医師会が実施している「区民講座」との整合性を取りながら、より歯科保健の普及啓発の場を充実していく必要があります。</p>
評価と課題		<p>○21年度から、従来「健康都市杉並ファロ」の取組みとして行っていたイベントは、「健康都市杉並推進月間」の名称で行っています。まだ取組みを始めたばかりですが、区内の病院が協賛団体として参加するなど、徐々に広がりを見せつつあります。地域団体との連携などが課題です。</p> <p>○よい歯ファミリーフェスティバルについては、杉並区歯科医師会会員より推薦される表彰家族の減少と、講演会の集客数が今後の課題となっています。</p>

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
	<p>○「健康都市杉並推進月間」の期間(10月・11月)に健康づくりのイベントをなるべくたくさん開催してもらえよう、関係機関等への働きかけを強化し、区民と連携して健康づくり事業を進めていきます。</p> <p>○「健康都市杉並推進月間」の名称や内容等が区民に浸透するよう、より一層のPRに努めます。</p> <p>○「よい歯ファミリーフェスティバル」は、健康づくりの基礎となる歯や口の健康を区民が主体的に考え、家族全体で取り組んでいくきっかけづくりとして、今後の事業内容や、実施方法を検討していく必要があります。</p>		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 328

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		(2) 事業実績	健康づくりリーダー・食育推進ボランティアは、すぎなみ地域大学の講座を修了した者が登録し、区民の健康づくり活動をするものです。リーダー、ボランティア自身が考え、実施、評価することを基本としており、健康に関するイベントの実施や商店街等の地域イベントに参加し、地域の健康づくりに寄与しています。杉並健康ネットワークは、自主グループの交流と活性化を図り保健所の講座から誕生した自主グループの持続的な活動を支えています。	健康づくりリーダー 平成21年 29人 平成22年 39名 食育推進ボランティア 平成22年 56名 自主グループ新規設立数 平成9年 16グループ、平成22年 5グループ	
		杉並区食育推進計画の検討、食育シンポジウムの開催、食育イベントの実施			1,777
		地域団体との共同事業開催(5保健センター)及び地域支援講習	45	回	425
		自主グループ交流会等ネットワーク事業(5保健センター)	1,085	人	309
		健康づくりリーダー活動	39	人	323
		その他(地域食育普及イベントほか)			194

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="十分に実現している"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text" value="NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text" value="協働[補助・助成]"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="実施継続"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	健康づくりリーダー 平成21年 29人 平成22年 39名 食育推進ボランティア 平成22年 56名 自主グループ新規設立数 平成9年 16グループ、平成22年 5グループ
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	様々な運動や楽しくできるウォーキングなど身近な区民が実施するので安心感やコミュニティの形成に役立つ。手作りの感覚で熱心に実施してくれるので親しみやすい。日常的にできる運動や健康に関する正しい知識、新しい話題など充実させて欲しいなどがあります。
	今後の予測	メタボリックシンドロームは区民に一定程度浸透したと考えられ、今後は糖尿病など、個別具体的な疾病予防に事業は深化していくとおもわれます。また、肥満だけでなく、若い女性の痩せの問題や高齢者の低栄養化の問題など依然として解決すべき課題は多く、区民のボランティアとしての健康づくり活動は、今後さらに多様化し増加の需要が見込まれます。
	評価と課題	健康づくりリーダー、食育推進ボランティアは、区民の視点から区民の健康づくりを推進、支援するものであり、区と協働して健康づくりを実現するもので重要です。区民の健康寿命の延伸化を支える原動力となるため、健康づくりへの高い使命感の醸成とその持続が必要です。このため、各々のリーダー・ボランティアが自主的に活動するよう支援しています。 安価志向や食事づくりの省力化、安全性の重視など食に対して多様な価値観をもつ区民に対して、食育ボランティアと区が協働して健康的な食環境を構築していく目標の達成にむけ活動を進めます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
		健康づくりリーダー、食育推進ボランティアは社会環境の変化に機敏に応じて健康情報を区民に伝えることも重要な役割です。例えば食と放射能に関する健康情報を健康づくりリーダーや食育推進ボランティアが、同じ区民の立場としての確に伝えることは、風評被害を防ぐばかりでなく、大きな安心感を区民の間に醸成します。そのためには、能力向上や知識の取得を目指した研修の充実や活動手法等を工夫していく必要があります。 各保健センターの生活習慣病予防講座などを受講した区民が、その中のメンバーで自主的なグループを結成し、相互に交流して健康的な生活を目指す活動を行っています。しかし、地域力の低下などからグループ化が低調です。結成支援について問題点を把握する必要があります。 国は第二次食育基本計画を策定し、食を通じたコミュニケーションと望ましい生活リズムなどを、新たに今年重要項目として提示しました。これを受けて区にふさわしい食育推進計画を、さらに検討します。	

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		公共的施設の分煙化の推進			款	4	項	5	目	1	事業	14	整理番号	329		
担当部課名		杉並保健所健康推進課			係名	健康推進係			連絡先電話番号	4524			昨年度整理番号	324		
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進			予算事業区分								既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	15	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	2	政策番号	1	施策番号	1	事業コード	2	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等		(1) 健康増進法第25条 (2) 杉並区喫煙対策実施施設登録制度実施要綱								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	<p>○喫煙対策実施施設の登録:公共的施設が受動喫煙防止のための対策を講じ、杉並区喫煙対策実施施設として登録します。</p> <p>○講演会等、普及啓発:区民がたばこ健康に関する正しい知識を得ることで、禁煙を促し周囲の者への受動喫煙を予防します。</p>				活動指標名(式)		(1) ポスター・パンフレット作成・配布数 (2) 講演会参加者数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>○喫煙・受動喫煙の害についての普及啓発:ポスターの掲示やパンフレットの配布等による普及啓発を図る。</p> <p>○喫煙対策実施施設の登録:施設に対し登録勸奨を行い、申請があった施設を登録。施設玄関等にプレートを表示するとともに、ホームページに掲載し、区民が受動喫煙防止対策施設の利用がしやすいようにする。</p> <p>○講演会等:禁煙・受動喫煙防止講習会の実施や禁煙についての情報提供を行う。</p>				成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
		成果指標名(1)		喫煙対策実施施設の登録数												
		算定式・指標の説明等		17年度からの累計												
		成果指標名(2)		喫煙をしている区民の割合												
		算定式・指標の説明等		杉並区生活習慣行動調査(3年毎一平成20年実施)												
区分		単位	20年度		21年度		22年度				23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績		計画	実績		計画(目標値)		実績		計画				
指標	活動指標(1)	①	枚	6,800	7,100	7,200	7,200	5,300	7,000			73.6				
	活動指標(2)	②	人	20	30	39	30	30	30			100.0				
	成果指標(1)	③	件	356	500	471	550	544	600			98.9				
	成果指標(2)	④	%	18.9	19.0	18.9	20.0	18.9	15.0			94.5				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	1,075	1,910	1,389	900	393	0		22年度予算執行率%		43.7			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0					特記事項 毎年、世界禁煙デーにあわせて掲示する普及啓発用ポスターの印刷をせず、翌年度の予算で対応した。					
	(内)委託費	⑦	千円	268	140	39	90	0								
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.34 0.20	0.11 0.30	0.06 0.30	0.21 0.20	0.21 0.20	0.00 0.00							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	3,077	977	533	1,873	1,873	0						
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	560	838	838	590	590	0						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	4,712	3,725	2,760	3,363	2,856	0							
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	693	525	383	467	539	0							
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	⑭	千円	883	955	955	450	450	0						
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0						
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	883	955	955	450	450	0							
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	3,829	2,770	1,805	2,913	2,406	0							
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 329

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				分煙化の普及啓発(チラシの作成・配布等)	5,300
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	受動喫煙を防止するため、世界禁煙デーにあわせたポスター掲示や母子手帳配布時のリーフレット配布、母親学級・乳幼児健診での喫煙の害についての保健指導等、普及啓発を行いました。また、禁煙希望者を中心に講習会の開催や禁煙情報の提供を行いました。飲食店や理髪等については、各講習会で制度のPRを行い登録勧奨を促しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力]	(4) 協働等の今後のあり方 推進	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成15年の健康増進法の施行に伴い、公的施設や医療機関、公共交通機関の分煙化は、進んでいます。公共的施設の分煙状況調査によると15年に比較し、飲食店は17ポイント、理容等の施設は20ポイント増加していますが、全体の割合からするとまだまだ少ない現状です。また、杉並区の喫煙率は、平成20年度は19%と徐々に低くなってきています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	公共的施設(特に飲食店)での望まない受動喫煙を防止するため、禁煙施設の増加に関する要望は多くなっています。
	今後の予測	平成22年2月に厚生労働省から公共的施設の受動喫煙防止対策についての通知が出されました。その通知により屋内は全面禁煙の方向性が出されています。今後、公共的施設の受動喫煙防止に対する要望が一層、増えると思われます。
	評価と課題	受動喫煙防止対策実施施設の登録数は徐々に増加しています。しかし、飲食店等での受動喫煙対策の実施率はまだまだ低いのが現状です。その原因として、お店の構造の問題や機器設置のための費用、利用者の減少による収益の減少等の理由があげられます。喫煙及び受動喫煙はがんや心疾患等の生活習慣病の大きな原因となっています。今後は、公共的施設の分煙化のみではなく、一層の普及啓発および区民の禁煙サポート等を含めた総合的な喫煙対策を推進する必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
	平成23年度から喫煙及び受動喫煙が、生活習慣病の発症の原因のひとつであることから、「生活習慣病予防対策」の事業の中で実施をします。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		特定給食施設への指導		款	4	項	5	目	1	事業	16	整理番号	331					
担当部課名		杉並保健所健康推進課		係名	健康推進係			連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	326						
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進		予算事業区分								既定事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	9	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業							
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			特定給食施設及び栄養管理指導の必要な給食施設		根拠法令等	(1) 健康増進法第18条の2、第20条、第21条の3、第22条 (2) 杉並区健康増進法施行規則第3条、第4条、第5条										
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			○特定給食施設指導を通して、施設の栄養管理業務の向上をはかります。 ○このことにより、喫食者の健康の維持増進をはかります。		活動指標名(式)	(1) 施設への巡回指導及び来所指導件数 (2) 講習会参加者数										
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○給食施設から提出された栄養管理報告書内容の確認 ○課題解決にむけ施設の巡回来所指導を実施 ○栄養管理向上のための講演会の実施 ○調理技術向上のための講習会の実施 ○地域での栄養イベント実施の機会の提供 ○自主的な学習・地域貢献団体への支援		成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標										
	成果指標名(1)	給食の位置づけに対して十分機能している給食施設数/栄養管理報告書提出給食施設数			算定式・指標の説明等													
	成果指標名(2)	喫食者に栄養・健康教育を実施した施設数/栄養管理報告書を提出した給食施設数			算定式・指標の説明等													
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績									
指標	活動指標(1)	①	施設	91	100	93	100	82	100	82.0								
	活動指標(2)	②	人	112	150	94	150	177	150	118.0								
	成果指標(1)	③	%	57	70	66	70	61.3	70	87.6								
	成果指標(2)	④	%	59	60	55	60	70.0	80	116.7								
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	224	361	327	361	262	361	22年度予算執行率%	72.6							
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項								
	(内)委託費	⑦	千円	50	50	50	50	41	50									
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.22	0.20	0.11	0.30	0.17	0.50				0.48	0.20	0.48	0.20	0.49	0.20
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	1,991	977	1,509	4,282	4,282				4,371					
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	560	838	1,397	590	590				590					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	2,775	2,176	3,233	5,233	5,134	5,322									
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	30,495	21,760	34,763	52,330	62,610	53,220									
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				0					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0				0					
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0									
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0									
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0									
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	2,775	2,176	3,233	5,233	5,134	5,322									
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 331

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				栄養管理者講習会	2
		栄養技術講習会	2	回	121
		栄養管理報告書の受理と指導	2	回	0
		自主団体が行う学習・地域貢献イベントへの支援	6	回	0
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	食事摂取基準(栄養摂取量の目標値)の改定をはじめ、給食の栄養管理業務に大きく関係する情報が多く特定給食施設関係者が多数出席した。 特定給食関係自主団体の地域貢献イベントは、開催会場の建替えにより十分なスペースが確保できなかったことから、今年度中にイベント内容や会場選択等を早期に検討します。地域貢献イベントを通じて効果的な食生活改善ができるよう支援していきます。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	本事業は、食料不足時代に給食内容の充実を図るために開始されました。現在は、外食や既製食品の利用が容易になり、給食への依存度は低下していることや給食を実施する勤労者寮や事業所の閉鎖、移転により施設数が減少しています。一方、小規模の高齢者施設や保育所などの児童福祉施設が増加し、特定給食数の基準に満たない規模の施設からの対応依頼が増加しています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	老人保健施設からは「栄養ケアマネージメントについてアドバイスしてほしい」などの要望があります。保育所、幼稚園「給食に食育の視点を活かすためのアドバイスがほしい」などの要望があります。
	今後の予測	住宅都市である区の特性からも、小規模の高齢者施設や認証保育所などの給食運営についての相談が増加してくることが予測されます。
	評価と課題	講演会等への参加率が例年に比べて高い傾向にあり、参加の折に施設ごとの個別相談にも対応しました。 こうした背景から、施設への巡回指導や来所指導等の個別指導の実績がやや低調でした。年2回の提出を求めている栄養管理報告書からの評価では、給与栄養量と目標栄養量の比較、これに基づく内容量などの評価などについて毎月実施していない施設が半数弱あることから、今後はこうした点の改善を強力に指導していきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
		健康増進法に基づく給食利用者数の規模に満たない施設からの給食開始届けの提出が増加しています。こうした施設の利用者は、栄養的な配慮を要する対象であり、高齢者分野、乳幼児分野など対象ごとの情報提供や調理講習等のきめ細かい支援にむけて検討していきます。	

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 337

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
				精神保健に関する相談	166
		精神障害者の社会復帰訓練	234	回	10,429
		心の健康づくりに関する講演会	11	回	605
		自立支援医療受給者証等送付			1,071
		その他 ()			92
	(2) 事業実績	社会復帰訓練に関しては新体制になり2年を経過し、運営も定着し利用者が増加しました。また地域での自立に向け、社会適応訓練の協力事業所の開拓にも力を入れ訓練者が増えました。こころの健康づくりに関しては、自殺の要因としてあげられている「うつ対策」に取り組み、相談件数が増加したのと相まって自殺者数は減少しました。また、うつ病の方を持つ家族会活動を支援しています。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="実現していない(今後可能性あり)((4)へ)"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="実施継続"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	50年に保健所業務が区移管されるとともに、精神障害者に対する相談、社会復帰訓練事業が開始されました。現在は18年に施行された障害者自立支援法のもとに知的、身体、精神の障害者がそれぞれの目標に合わせた地域生活を送れるよう関係機関全体で支援しているため、役割の明確化が求められています。一方、自殺の一因となっているうつ病などの精神疾患に対して、区民への正しい知識の普及と早期対応のための講演会などの啓発活動が重要になっています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	長期入院患者や入退院を繰り返す不安定な精神障害者に対し、迅速できめ細かな対応が求められています。心の健康づくりは自殺対策にも有効で特に働き盛りの区民が参加しやすい形の啓発活動が求められています。自殺に繋がる要因としてうつ病だけではなく睡眠障害やアルコール問題への対応が求められています。うつ病の講演会など、働き盛り層が受講しやすい夜間、土日開催等の講演会の工夫が求められています。
	今後の予測	依存症や成人期の発達障害の相談や複数の問題を抱えている方の相談が増え、処遇困難な事例の増加が見込まれます。また精神障害者保健福祉手帳1級を持っている方へ福祉手当が支給されることになったため手帳申請が増えると思われます。
	評価と課題	精神保健相談は、依存症や成人期の発達障害等の重複した問題を抱えている方の相談が増えている中、区民が最初に相談する窓口として大きな役割があり、有効に活用されています。特に相談が増えている発達障害者支援に関しては、相談対応に関するスキルアップが必要です。社会復帰訓練に関しては利用者が、卒業後も再発をしないで地域で生活できるように、個々の自立目標にあわせたきめ細かい支援が必要となります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	○精神保健相談においては多問題事例に対応できるように依存症や発達障害に関する研修を実施します。 ○成人期の発達障害者支援においては活用できる社会資源も少なく、障害者分野で試行されている社会適応支援事業と連携し対応していきます。 ○自殺対策の一環としてうつ病等のこころの健康づくり講演会を働き盛り層が参加しやすい時間帯に開催するとともに関係機関にゲートキーパー研修を実施し支援者づくりをします。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		保健所等施設の維持管理		款	4	項	5	目	6	事業	1	整理番号	355	
担当部課名		杉並保健所地域保健課		係名	管理係			連絡先電話番号	4528		昨年度整理番号	350		
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進		予算事業区分								既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	11	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			保健所および保健医療センター利用者		根拠法令等	(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並保健所設置条例						
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			施設及び環境を安全で快適な状態にします。		活動指標名(式)	(1) 建物面積 (2) 保守委託契約件数						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○保健所および保健医療センターの①庁舎管理 ②設備保守管理 ③備品管理を行う。		成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 不具合件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等						
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	①	m ²	6426.13	6426.13	6426.13	6426.13	6426.13	6426.13	6426.13	100.0			
	活動指標(2)	②	件	17	17	17	17	17	17	17	100.0			
	成果指標(1)	③	件	22	0	21	0	23	0					
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	81,520	87,259	78,324	92,251	75,205	96,664	22年度予算執行率% 81.5				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	646	200	146	0	特記事項 ①平成11年4月竣工 ②建物面積は荻窪保健センターを含みます。 ③事業の性質上、目標値は設定しません。 ④入札により差金が生じているため、執行率が低くなっています。				
	(内)委託費	⑦	千円	47,077	57,657	50,296	61,766	48,510	66,640					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.64 0.00	0.40 0.20	0.45 0.20	0.60 0.00	0.77 0.00	0.40 0.20					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	5,792	3,552	3,996	5,352	6,868			3,568		
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	559	559	0	0			590		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	87,312	91,370	82,879	97,603	82,073	100,822					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	13,587	14,219	12,797	15,157	12,749	15,689					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	805	333	428	333	471			389		
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0		
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0			0		
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0			0		
		特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	805	333	428	333	471			389		
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	86,507	91,037	82,451	97,270	81,602	100,433					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.9	0.4	0.5	0.3	0.6	0.4						

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 355

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				建物総合管理委託	3
		光熱水費(電気・ガス・水道・電話)			21,750
		機械設備保守点検業務委託	1	件	14,133
		画像診断システムの保守委託等(保健予防課)	2	件	2,071
		その他(委託・修繕・維持管理用品・電柱広告使用料)			13,206
	(2) 事業実績	保健所及び保健医療センターの機能を低下させないよう、維持管理を行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成11年度の運営開始時は「休日等夜間急病診療所」を年間を通じて開設しましたが、平成12年度と13年度の平日は休止としました。平成14年度は平日夜間の「小児夜間急病診療所」を開設しました。夜間の開設時間が延長となったため、警備員や駐車場管理の委託費が増大しました。平成17年度に「杉並区急病医療情報センター」の委託事業の開始により、施設内の「テレホンサービス事業」が廃止となりました。平成18年度地域保健課が新設され、保健予防課ではHIV検査、健康推進課では休日パパママ学級の委託事業などが始まり、土・日曜日の施設利用頻度は高まっています。平成19年度より「医療安全相談窓口」を開設しました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	建設後10年以上経過しているため、建物及び設備の劣化等により修繕費および保全費用等の経費の増加が見込まれます。また、平成23年度中に歯科保健医療センターを開設するため、維持管理経費の増加が見込まれます。
	評価と課題	経年劣化により修繕箇所が増加しているため、保健所を利用する区民が安全で快適に利用できるよう、今後も施設設備の不具合の発生を抑制していく必要があります。東日本大震災による電力不足への対応のため、照明の間引きや空調運転の調整などにより節電していますが、夏・冬に向けてより一層の節電対策に取り組むとともに、保健所を利用する区民にも理解されるよう努める必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現 状 維 持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更	○ 実施方法の変更		
	各課・事業所が実施する事業により維持経費が増減する要素が大きく、その年の気候により光熱水費が増減する影響が大きい。一概に前年と比較できません。職員一人ひとりの節水・節電・紙の節約等の意識をさらに高めていきます。また、定期的な保守点検と修繕により、施設設備の不具合の発生を抑制し、経費削減に努めます。					

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		荻窪保健センターの維持管理		款	4	項	5	目	6	事業	2	整理番号	356
担当部課名		杉並保健所荻窪保健センター		係名	業務係			連絡先電話番号	4526		昨年度整理番号	351	
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	50	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		施設の維持管理:健康相談・健診等の利用者、自主グループ		根拠法令等		(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並区保健所設置条例					
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		設備、機器の保全・保守に努め、健康相談・各種健診等で来所した区民に快適な施設環境と、的確な相談や正確な健診等を提供します。		活動指標名(式)		(1) 建物面積㎡ (2) 保守委託契約件数					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○設備、施設機器、医療機器等各種備品の管理、保守点検等を定期的実施し、必要に応じ修繕等を行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
						成果指標名(1)		修繕件数					
						算定式・指標の説明等							
						成果指標名(2)							
						算定式・指標の説明等							
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		
指標	活動指標(1)	①	㎡	1,355	1,355	1,355	1,355	1,355	1,355	1,355	100.0		
	活動指標(2)	②	件	4	3	5	5	5	5	5	100.0		
	成果指標(1)	③	件	3	4	1	4	1	4	4	25.0		
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	2,149	2,062	1,483	1,823	1,660	1,706	22年度予算執行率% 91.1			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	645	195	195	0	147	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	616	975	585	798	653	827				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.70 0.40	1.70 0.40	1.70 0.40	1.70 0.40	1.70 0.40	1.70 0.40				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	15,385	15,094	15,094	15,164	15,164			15,164	
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	1,120	1,117	1,117	1,180	1,180			1,180	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	18,654	18,273	17,694	18,167	18,004	18,050				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	13,291	13,342	12,914	13,407	13,179	13,321				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0	
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0	
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0			0	
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0			0	
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	18,654	18,273	17,694	18,167	18,004	18,050				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 356

22年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				修繕費	1
		器機保守委託	5	件	542
		賃借料	1	件	239
		備品費	1	件	147
		その他（一般需用費）	604		
	(2)事業実績	各種の健康診査や健康相談等を実施するため、医療機器備品類の買換え、及び保守点検委託を実施しました。			

協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	急速に進む少子高齢化や女性の社会進出、変動する経済情勢などにより、区民の生活や価値観は一層多様化し、保健福祉サービスのあり方にも変化が求められています。また、医療関係機器等備品類に、耐用年数を超え、交換の時期を迎えているものも多くなりつつあります。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	駅に近いこともあり、調理実習室等の一般開放への要望があったため、保健センター共通の利用の基準を定めました。
	今後の予測	今後、医療機器等備品類の老朽化が一層顕著になることから、センターを適切に維持管理するために計画的な更新が必要になります。
	評価と課題	健診事業で用いる機器については、定期的な保守点検を行うなどで事業に支障がないよう対応できました。 健康づくり活動のための一般区民の施設利用に関しては、5保健センター共通の利用基準により公平な対応ができた。今回の震災により、階段の壁が剥がれるなどの被害を受けました。安心して健診業務できるよう耐震の点検が必要となります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
	窓口に、ローカウンターを設置し、各種申請を座って記入できるようにしたり、これまで施設の改善を行って来ましたが、保健所には複数の施設が入っており、必ずしも来庁者に分かりやすい案内・誘導にはなっていません。今年度の保健医療センター改修と合わせて案内・誘導の改善を図り、また、震災時に落下のおそれがある看板を安全なものにしていきます。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 357

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				清掃業務請負委託	1
		機械設備保守委託	1	件	300
		光熱水費	12	月	2,997
		修繕費	11	件	521
		その他 (各種保守業務委託、賃貸借料 ほか)	4,305		
	(2) 事業実績	自動火災報知設備の修理、診察室空調機の修理、診察室ドアクローザの修理などを行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	少子高齢化や女性の社会進出、長引く経済不況などにより、区民の生活様式は一層多様化したうえ、原発事故等による身体への影響など、区民の健康に関する関心はいままで以上に高くなっています。保健福祉サービスのあり方にも変化が求められています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	高齢者、乳幼児、障害者などが多く利用される施設のため、エレベーター設置の要望が出されています。
	今後の予測	センターの施設の老朽化や備品の経年劣化等から、順次、設備や施設の改修、備品の交換等が必要になっています。
	評価と課題	安心して快適に利用していただける施設を目指して修繕等に取り組んできていますが、施設の老朽化や利用者のニーズに即したエレベーターの設置など、大規模な修繕が必要になっています。修繕の緊急対応度により優先順位をつけ、可能なところから施設保全に取り組んでいきます。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	22年度は、自動火災報知設備の修理、診察室空調機の修理、診察室ドアクローザの修理など行ってきていますが、23年度は、古くなったブラインドの取替えを行います。今後も、日ごろの施設の安全チェックを確実にし、営繕課調査等を通して安全な施設維持に向けた修繕の実現を図っていきます。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高円寺保健センターの維持管理		款	4	項	5	目	6	事業	4	整理番号	358	
担当部課名		杉並保健所高円寺保健センター		係名	業務係			連絡先電話番号	4512		昨年度整理番号	353		
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進		予算事業区分								既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	50	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			施設の維持管理: 健康相談・健診等利用者、自主グループ		根拠法令等	(1) 地域保健法・同施行令・同施行規則 (2) 杉並区保健所設置条例						
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			庁舎・機器の保全・保守に努め、相談・各種健診等で来所した区民にとって、快適な環境を整備します。		活動指標名(式)	(1) 建物面積㎡ (2) 保守委託契約件数						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○庁舎・設備機器等の維持管理、保守点検等を定期的に行い、必要に応じて修繕を行う。		成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 修繕件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等						
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	①	㎡	1,765	1,765	1,765	1,765	1,765	1,765	1,765	100.0			
	活動指標(2)	②	件	14	14	14	14	11	11	11	78.6			
	成果指標(1)	③	件	17	5	5	5	4	5	5	80.0			
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	22,464	21,135	16,331	17,597	12,959	15,416	22年度予算執行率% 73.6				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	13,323	14,733	11,508	8,429	6,563	6,938					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.50 0.00	1.50 0.00	1.51 0.00	1.60 0.00	1.50 0.00	1.60 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	13,575	13,319	13,407	14,272	13,380	14,272				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	36,039	34,454	29,738	31,869	26,339	29,688					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	20,419	19,521	16,849	18,056	14,923	16,820					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	187	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	187	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	35,852	34,454	29,738	31,869	26,339	29,688					
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 358

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
			清掃業務請負委託		1
	機械設備保守委託		1	件	538
	光熱水費		12	月	4,026
		その他 (各種保守業務委託、賃貸借料ほか)			4,673
	(2) 事業実績				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している ▼	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ) ▼	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] ▼	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続 ▼	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	空調設備・給排水等の老朽化から、平成21年度に大規模改修工事を実施しました。22年度途中から、高円寺保健センターで維持管理を行っていた分室を、障害者施策課から民間施設に貸し出すこととなりました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	明るくきれいになった庁舎への評価がある一方で、2階の事務室への昇降手段が従前どおり階段しかないことへの落胆の声も聞かれます。
	今後の予測	
	評価と課題	改修工事後は、機器や建物の不具合による修繕が減少しましたが、大規模な機器の入れ替えにより、光熱費の増加は避けられません。節電、省エネの方策を十分検討する必要があります。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
	引き続き、区民が安心かつ快適に利用できる施設として、日常点検をこまめに行い適正な維持管理に努めます。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		上井草保健センターの維持管理		款	4	項	5	目	6	事業	5	整理番号	359	
担当部課名		杉並保健所上井草保健センター		係名				連絡先電話番号	4504		昨年度整理番号	354		
上位施策No・施策名		22 健康なまちづくりの推進		予算事業区分										
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	60	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）							活動指標名(式)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）							成果指標						
庁舎・機器の保全・保守に努め、健康相談や各種健診等で来所した区民にとって、快適な環境を整備するとともに非常時の安全確保を図ります。							※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 修繕件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	20年度		21年度		22年度			23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	①	m ²	815	815	815	815	815	815	815	100.0			
	活動指標(2)	②	件	11	11	11	11	11	11	11	100.0			
	成果指標(1)	③	件	14	10	13	10	13	13	130.0				
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	10,361	10,997	10,173	9,154	8,250	8,704	22年度予算執行率% 90.1				
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内) 委託費	⑦	千円	5,061	5,207	5,071	5,111	5,043	4,988					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.13 0.05	1.13 0.05	1.10 0.00	1.10 0.00	0.90 0.00	0.90 0.00	0.90 0.00				
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	10,227	10,033	9,767	9,812	8,028	8,028				
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	140	140	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	20,728	21,170	19,940	18,966	16,278	16,732					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	25,433	25,975	24,466	23,271	19,973	20,530					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	20,728	21,170	19,940	18,966	16,278	16,732					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 359

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				清掃業務委託	1
		機械設備保守委託	1	件	494
		光熱水費	12	月	1,453
		修繕費	13	件	505
		その他 ()	2,565		
	(2) 事業実績	清掃業務として日常及び定期清掃の実施及び清掃員の配置。機械設備保守業務として空調設備等の定期点検を委託実施しているほか、リース備品の賃貸借料の支払、電気・ガス・水道の光熱水費の支払、修繕請負業務の支払等が主な取組みとしての実績です。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	少子高齢化や女性の社会進出、長引く経済不況などにより、区民の生活様式は一層多様化し、保健福祉サービスの質やあり方にも変化が求められています。センターは、施設の老朽化に伴い、設備修繕が多々発生しています。ベビーカー等の盗難に備え、平成21年度に防犯カメラを設置しました。平成22年度から、検査を伴う一般健康相談が廃止され、X線室の機器が撤去されました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	省エネ実施プランを達成するためには、節減努力に加え、省エネ対応設備に交換する必要があります。施設の老朽化に伴い、修繕経費の増加が見込まれます。
	評価と課題	安全確保のために、老朽化による修繕箇所を早期発見し迅速に対応します。 光熱水費については、省エネ実施プランに基づき、経費の節減に努めるとともに、省エネ対応機器と交換する方法との費用対効果を検証する必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 360

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設保守管理委託	1	式	4,166
		光熱水費	12	月	1,707
		修繕費	2	件	179
		その他 ()			2,051
	(2) 事業実績	平成22年度につきましては、大規模な修繕の実績はありませんでした。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[委託]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	少子高齢化や女性の社会進出、長引く経済不況などにより、区民の生活様式は一層多様化し、保健福祉サービスの質やあり方にも変化が求められています。センターは施設開設から30年が経過していることもあり、建物や設備の老朽化が発生しています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	センターの建物や設備に対する特段の苦情などは寄せられておりません。
	今後の予測	今後も、建物や設備の老朽化に対する対応が必要となってくると考えられます。
	評価と課題	施設の使用が乳幼児・母親・妊婦が中心となるので、利用者のニーズにあった改修が望まれます。施設の老朽化についても改修を進める必要があります。 また、東日本大震災によって生じた電力不足への対応が、課題として生じております。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
	財源の確保が難しい状況にありますが、営繕課など他部門と連携しながら、大規模な改修や設備の入れ替えを計画的に行っていく必要があります。		

特記事項	平成23年度は、廊下や診察室などの内壁の塗り替え工事を実施する予定です。
------	--------------------------------------